

H28導入 ものづくりを支援する最新装置 ヘッドスペースガスクロマトグラフ

【装置概要】

試料から揮発成分をヘッドスペースオートサンプラーにより連続的に抽出し、ガスクロマトグラフへ導入し分析する装置です。

用途としては、主に食品中の香り成分の分析に用いられ、製品の品質管理に役立ちます。

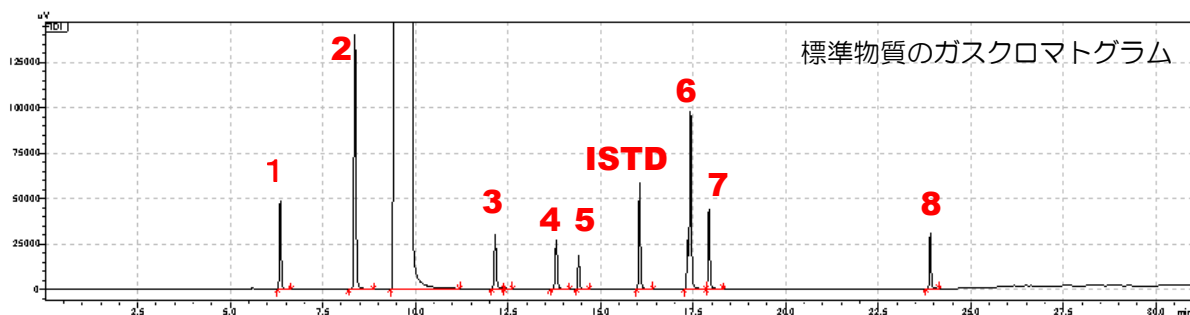


【仕様】

名称・型式	HS-20及びGC-2010plus
試料注入方式	サンプルループ方式
最大検体数	90個
試料保温温度	(室温+10℃)～300℃
トランスファー温度	(室温+10℃)～350℃
加圧ガス及びキャリアガス	ヘリウム(専用)
検出装置	FID(水素炎イオン化検出器)
製造者	株式会社島津製作所



【事例】日本酒中の香り成分分析



1：アセトアルデヒド

2：酢酸エチル

3：n-プロピルアルコール

4：イソブタノール

5：酢酸イソアミル

6：イソアミルアルコール

7：カプロン酸エチル

8：カプリル酸エチル

ISTD：内部標準物質